

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して
 定めた日

単元株式数 100株
 株主名簿管理人および
 特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (郵便物送付先) 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 受付時間 9:00～17:00 (土日休日を除く)

(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
 (よくあるご質問(FAQ)) https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal
 公告方法 当社ホームページに掲載する

<https://www.daidoh-limited.com/>
 ただし、事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行う

上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場
 名古屋証券取引所プレミアム市場

■ 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会
 証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
 証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

■ 特別口座について
 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

DAIDOH
 FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

株式会社ダイドーリミテッド

経理財務部
 〒101-8619
 東京都千代田区外神田三丁目1番16号
 TEL.03-3257-5022 FAX.03-3257-5051



NEWORKER

BERKLEY
 MODERN PREPPY STYLE
 BY NEWORKER

SIPULI

along with natural beauty

MILLION CLUB

Atraer



Brooks Brothers

PONTETORTO

Dynacity



皆様へ

第100期中間(第2四半期)報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで

DAIDOH
 FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

株式会社ダイドーリミテッド

<https://www.daidoh-limited.com/>



代表取締役社長執行役員 鍋割 宰

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響は長期化しておりますが、規制緩和が段階的に進み、経済回復への期待が高まりを見せております。一方で、世界的なインフレの影響もあり、様々な品物が値上げされ、生活防衛の意識はこれまで以上に高まっております。

当社グループは「お客様第一」「品質本位」の経営理念のもと、価値のある商品やサービスの提供を通して、中長期の視点で利益を生み出せる企業グループへの進化に取り組んでおり、グループ一丸となって改革と改善を実行し、業績の改善に向け尽力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業環境の変化に対応し、中長期の視点で利益を生み出せる企業グループを目指しております。

当期の営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、感染防止と経済活動の両立により徐々に回復の動きが見られましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大に加え、不安定な国際情勢に伴う資源価格の上昇や円安の影響などもあり、先行き不透明な状況が続きました。

衣料品業界におきましては、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響はありましたが、国内では期間を通して行動制限や外出自粛に繋がる規制が緩和されていたことで、徐々に需要の回復が見られました。

衣料事業では、小売部門は在庫の適正化とともに値引販売の抑制を図り、利益の確保に努めてまいりました。中国の製造部門では、上海地区で発生した都市封鎖により物流や工場の稼働に影響はありましたが、稼働再開後は日程や製造工程の調整等を行い、正常化に努めてまいりました。

不動産賃貸事業では、当社本社ビルの老朽化に伴い、本社ビルの売却を決定いたしました。小田原の商業施設「ダイナシティ」では、一部施設のリニューアルを実施し、新たなテナントを誘致しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は12,895百万円(前年同四半期比18.6%増)、経常損失は577百万円(前年同四半期は経常損失1,656百万

円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は696百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,457百万円)となりました。

中長期的な取り組み

業績の回復に向けた主な取り組みとして、小売事業新生・海外事業拡大・不動産賃貸事業効率化に注力しております。

衣料事業の小売部門は、「ニューヨーカー」と「ブルックスブラザーズ」を事業の柱として、仕入の適正化により在庫効率を改善し、値引販売の抑制や廃棄処分の削減に取り組み、利益の確保を目指しております。グループ内の製造部門を活用し、お客様が求める品質とそれに見合う価格を維持し、「よるこばれる質」を提供することで、お客様からの信頼を獲得してまいります。売上拡大のために注力しているウィメンズのパターンオーダーは、確かな技術を持つ国内の協力工場で製造されております。安定的な生産背景を確保するため、引き続き国内生産と海外生産のバランスの最適化を目指してまいります。

中国ではニューヨーカー商品を販売する店舗を展開しており、パターンオーダーの取り扱い店舗を増やし、商品構成の幅を広げることも検討しております。中国をはじめとするアジア地域を売上拡大の余地がある市場ととらえ、小売事業の拡大に取り組んでまいります。

イタリアでファッションウェアとスポーツウェア向けの素材を製造するポンテルトでは、環境に配慮した素材への需要の高まりにともない、同社が開発したりサイクル素材や生分解素材は高い評価を得ており、スポーツウェア向け素材の受注が大きく伸びております。ファッションウェア向け素材も受注が回復しており、引き続き売上拡大や新たな素材開発を目指してまいります。

不動産賃貸事業では、小田原の商業施設「ダイナシティ」は、新しい業態のテナントも誘致し、施設の魅力の維持・向上を目指しております。今後も地域の皆様に喜んでいただけるテナントを誘致し、地域との共生を意識して運営してまいります。

不動産賃貸事業は、今後も保有資産を有効に活用し、事業の効率化・安定化を図ってまいります。

固定資産の譲渡

当社本社ビルの老朽化に伴い、再開発や売却等の可能性について検討してまいりましたが、経営資源の有効活用と財務体質の強化を図るため、2022年7月7日に当社本社ビルの土地・建物を売却することを決定し、2023年3月末に引渡しを行う予定です。

本社ビルは当社グループが利用するほか、不動産賃貸事業の収益物件として外部賃貸も行っておりますが、当該売却は不動産賃貸事業の保有資産組換えの一環として実施し、売却収入を活用して代替資産を取得することで事業の効率化・安定化を図ることを目的としております。なお、本社ビルは売却後に賃貸借契約を締結し、本社として利用を継続する予定です。



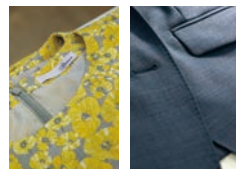
Topics
1

婦人服のパターンオーダーを推進

当社では、注力事業の一つであるパターンオーダー事業において、婦人服パターンオーダーの展開を推進しております。

中でも、パターンオーダーブランドの「アトラエル」では、その世界観をより身近に感じていただくために、今秋、自社ECサイト「NYオンライン」内にブランドページを立ち上げ、シーズンコレクションの代表的な素材を使用したオーダー製品のイメージビジュアルをご覧いただけるようにいたしました。また、オーダー製品に合わせるブラウスなど、一部既製品のオンライン販売もスタートし、好評をいただいております。

今後は販路拡大も視野に入れ、引き続き婦人服パターンオーダーの認知度向上と売上拡大を図ってまいります。



国内の協力工場にて
1着ずつ確かな技術と共に
仕立てられています。

NYオンライン<Atraer>について詳細はこちら
<https://www.ny-onlinestore.com/shop/brand/26>



Topics
2

過去と今をつなぐコレクション 「アーカイブ・ニューヨーカー」を展開

NEWYORKER

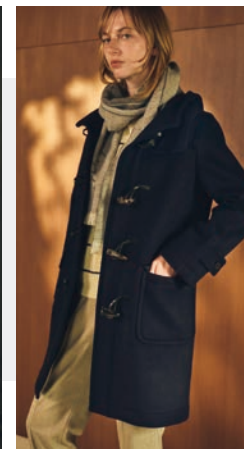
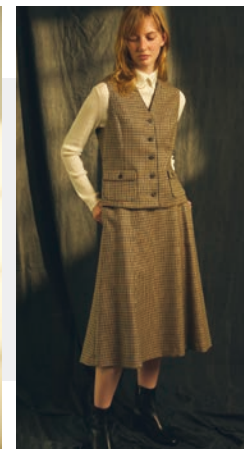
当社グループの主力ブランド「ニューヨーカー」では、過去に展開していたアイテムや柄をリプロダクトする企画「ARCHIVE NEWYORKER (アーカイブ・ニューヨーカー)」を今秋より展開しております。

単なる「復刻」という枠にとらわれず新たな解釈を加え、「過去」と「今」をつなぐ特別なコレクションとして提案しております。



数あるアーカイブの中から、今シーズンは1980年代のコレクションから着想を得て、当時トラッドスタイルで親しまれていたジャケット、ベスト、ダッフルコートといったアイテムを、当時の風合いを残しつつ今のスタイルに馴染みやすい素材感で表現いたしました。

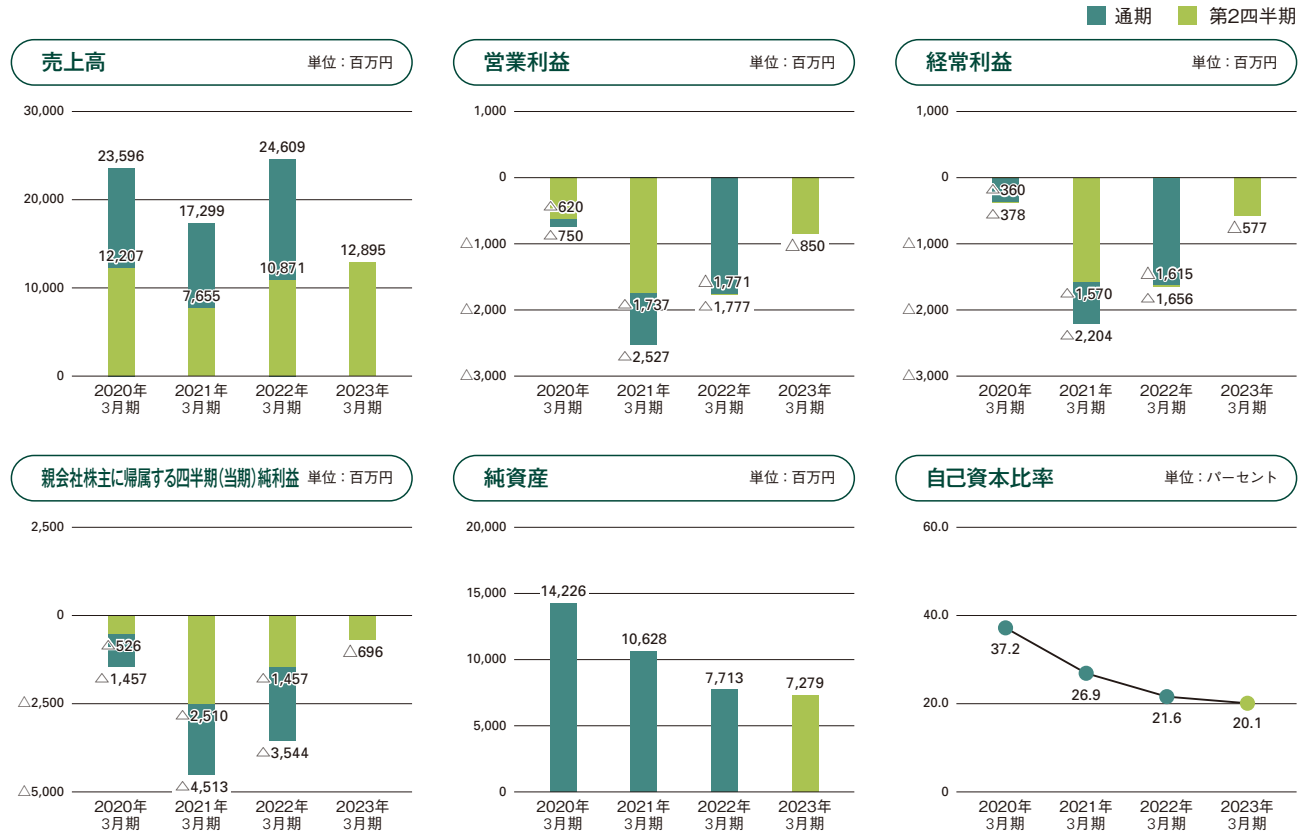
当時のニューヨーカーを
彷彿させる
「グリーンタグ」を使用。



業績・財務ハイライト

(単位:百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期
売上高	7,655	17,299	10,871	24,609	12,895
営業利益	△ 1,737	△ 2,527	△ 1,777	△ 1,771	△ 850
経常利益	△ 1,570	△ 2,204	△ 1,656	△ 1,615	△ 577
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 2,510	△ 4,513	△ 1,457	△ 3,544	△ 696
純資産	12,054	10,628	8,769	7,713	7,279
自己資本比率(%)	32.4	26.9	24.0	21.6	20.1



会社情報／株式関連情報

(特に記載のない限り2022年9月30日現在の状況です。)

会社概要

株式会社 ダイドーリミテッド DAIDOH LIMITED

創業 1879年(明治12年)1月
設立 1949年(昭和24年)10月17日
資本金 6,891,851,938円

取締役および監査役

代表取締役社長執行役員	銅 割 宰
取締役常務執行役員	福 羅 喜代志
取締役上席執行役員	齋 藤 文 孝
取締役執行役員	渡 部 克 男
取締役	西 岡 和 行
取締役	成 田 健 介
監査役(常勤)	戸 澤 かない
監査役(弁護士)	武 田 昌 邦
監査役	城 戸 真 亜 子

(注) 取締役 西岡和行、成田健介の両氏は、社外取締役であります。
監査役 武田昌邦、城戸真亜子の両氏は、社外監査役であります。

主要な事業所

本 社 東京都千代田区
外神田三丁目1番16号

従業員の状況

株式会社ダイドーリミテッド 34名
企業集団の合計 801名

主な借入先

借入先	借入金残高
株式会社みずほ銀行	4,200百万円
三井住友信託銀行株式会社	3,000百万円
株式会社三井住友銀行	2,250百万円
株式会社横浜銀行	400百万円

株式の状況

発行可能株式総数 150,000,000株

発行済株式の総数(自己株式を含む) 37,696,897株

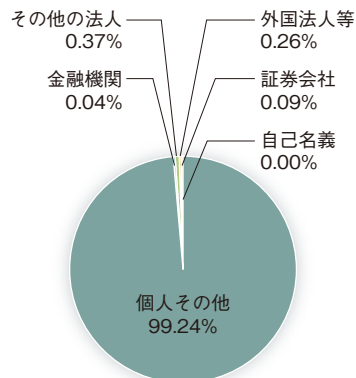
株主数 30,449名
(前期末 32,845名)

大株主

株主名	所有株式数(百株)
株式会社オンワードホールディングス	61,000
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,814
株式会社ソト	15,950
SMBC日興証券株式会社	10,526
三井住友海上火災保険株式会社	6,464
三井住友信託銀行株式会社	6,420
株式会社みずほ銀行	6,283
明治安田生命保険相互会社	4,655

(注) 当社所有の自己株式(4,873,168株)は、上記大株主からは除外しております。

所有者別株主数分布



所有者別株式数分布

